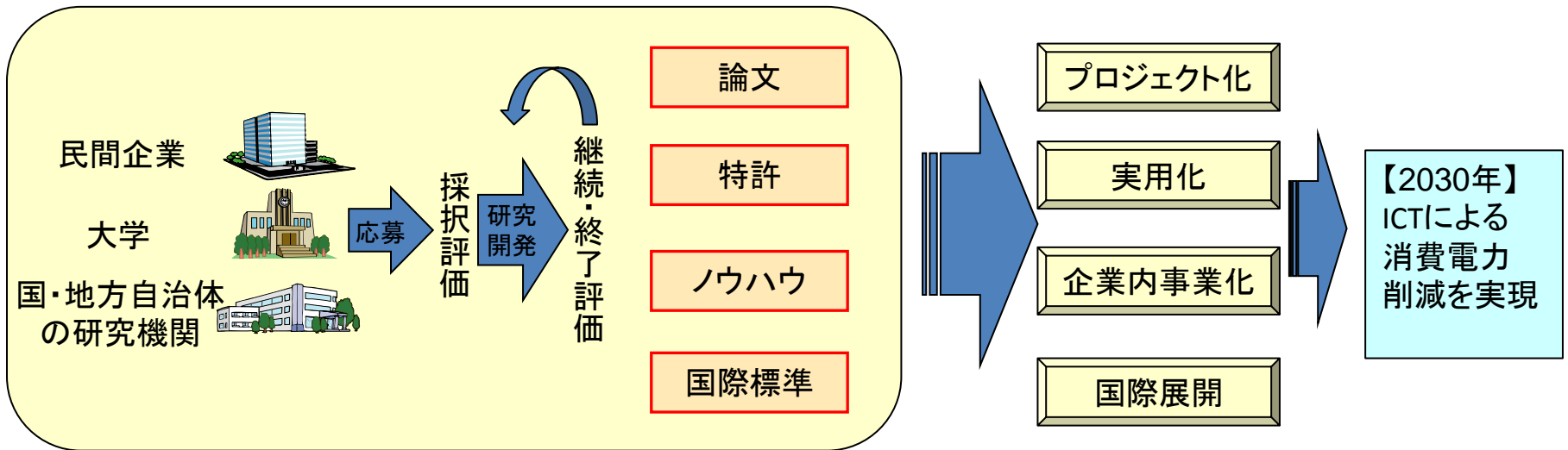


(参考) 戦略的情報通信研究開発推進制度

戦略的情報通信研究開発推進制度のプログラムの一つとして“ICTグリーンイノベーション推進型研究開発”を推進。

ICTを利用したエネルギー消費量削減、ICT機器そのもののエネルギー消費量削減が見込まれる研究開発課題を大学・企業等から公募し、外部有識者の選考評価の上、事業化や実用化の可能性を検証し、競争的資金による研究を推進。

競争的資金による効率的な消費電力削減が見込まれるICT分野の研究開発



【これまでの採択状況】

	H21年度	H22年度	H23年度
応募数	27	33	22
採択数	5	4	4

【H25年度実施予定の課題(H23より継続)】
フレキシブル・グリッド型光ノードシステムの
研究開発 等 計4課題

(参考)世界科学データプラットフォームの実現

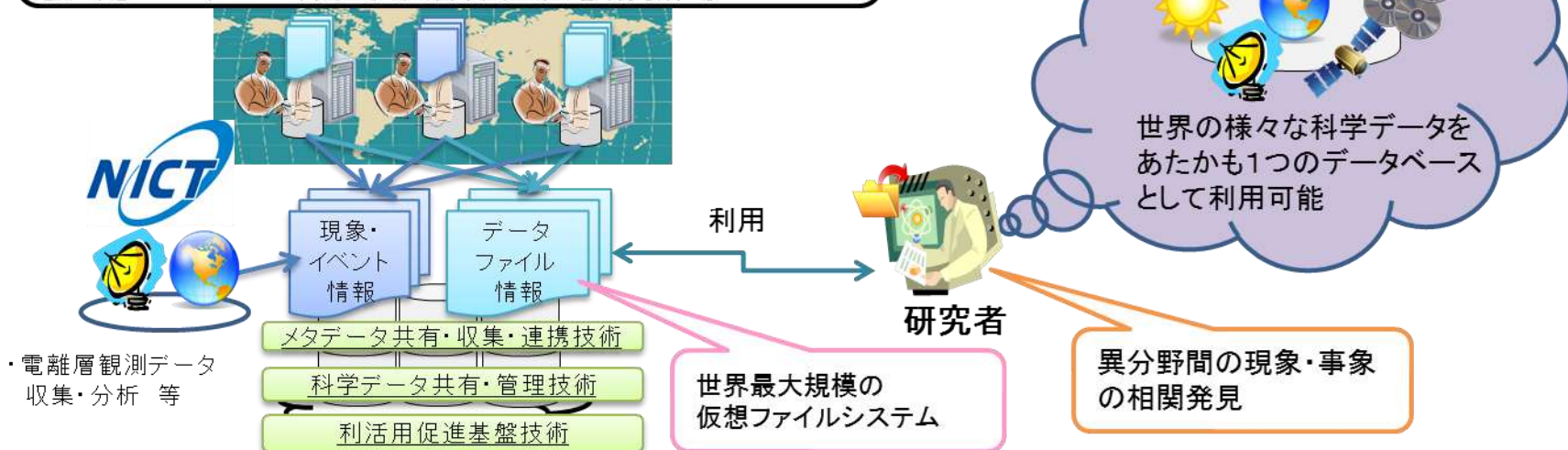
- (1) 国際学術機関である国際科学会議(ICSU)は、世界各国の研究機関が保有する地球観測データ等の国際共有を図るため、データを仮想的に1つのデータベースとして利用可能とする「世界科学データシステム(WDS)」の構築計画を発表し、その計画を推進する国際プログラム事務局のホスト機関として平成22年11月にNICTが選定された。
- (2) NICTは、複合分野・複合プログラムにわたる世界規模データベース利活用システムを開発、構築し、2020年までに、世界中に分散している様々な研究機関が有する多様な科学データの有機的な連携を目指す。これにより、未だ不明な点も多い地球環境変動などの解析・予測を可能とすることで、地球規模での環境問題解決などに貢献することを目標とする。

国際科学会議(ICSU: International Council for Science) 世界科学データシステム(WDS: World Data System)

<世界科学データシステムのイメージ>

科学データ保有機関(100機関以上予定)

【外国】NOAA(米)、NASA(米)、Max-Planck研究所(独)等
【日本】NICT、JAXA、国立天文台、国立極地研究所等



・電離層観測データ
収集・分析等

【平成23年度から】